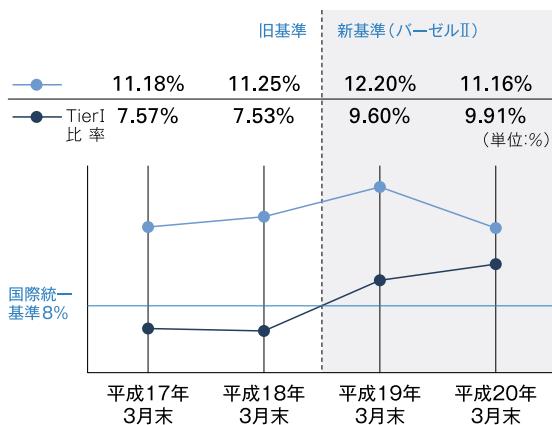


自己資本比率

自己資本比率は、経営の安全性、健全性を判断する基準のひとつで、リスクに対する備えを示す指標です。

しがぎんの連結自己資本比率は11.16%（平成20年3月末現在）と、国際統一基準をしっかりとクリアしています。



国際統一基準による自己資本比率

$$\frac{\text{Tier I} + \text{Tier II}}{\text{信用リスク} + \text{オペレーショナルリスク}} \times 100 \geq 8.0\% \quad *$$

Tier I: 資本金・資本剰余金・利益剰余金などの基本的項目
 Tier II: 有価証券含み益の45%相当額など補完的項目

平成19年3月期から自己資本比率算出について、新しい基準（バーゼルII）を適用しています。当行では、信用リスクの計測手法として「基礎的內部格付手法」、また、オペレーショナルリスクの計測手法として「粗利益配分手法」など、より高度なリスク管理が可能となる計測手法を採用しています。

※しがぎんのように海外に営業拠点を持つ銀行には、自己資本比率を国際統一基準である8%以上にすることが求められます。

格付けランク

格付けは、銀行外部からの評価指標であり、お客さまが安心、なっとくしていただく際の判断基準のひとつです。

しがぎんでは、日本格付研究所、格付投資情報センターのふたつの機関から、高い評価をいただいています。

日本格付研究所（JCR） 格付投資情報センター（R&I）

AAA
AA+
AA
AA-

AAA
AA+
AA
AA-

A+ 債務履行の確実性は高い

A+ 信用力は高く、部分的に優れた要素がある

A
A-
BBB+
BBB
BBB-
BB+
BB
BB-
B+
C
D

A
A-
BBB+
BBB
BBB-
BB+
BB
BB-
B+
C

（平成20年3月31日現在）

格付け

銀行預金の元利金支払の確実性や安全性について、利害関係のない第三者が判断してその結果を簡潔な記号で表示したものです。いわば、銀行を判断する上で、安全性・信用度を客観的に評価した重要な指標のひとつです。